

第7回「acca京都・大山崎地区建物視察会」に参加して



勝尾恵理子
通訳案内士
全日本通訳案内士連盟 (JFG)

開催日：平成24年11月9日（金）・10日（土）
参加者：33名

初日の9日は、京都駅からバスにて京都地区視察出発。
・大雲院・祇園閣（伊東忠太設計/大倉土木/国登録有形文化財・1927年竣工・特別公開）を見学。大雲院で全体説明の後、元財閥大倉喜八郎男爵の90歳の記念に建てられた祇園祭の山鉾を模した、祇園閣内部を見学。入口では観音開きの扉に描かれた鶴（大倉男爵の化身）が出迎えてくれ、阿彌陀如来像や極楽浄土を思わせる見事な壁画を見ながら閣上に昇り、京都一美しいと言われる見事な東山の紅葉を眺める。鉾先から羽ばたこうとしている金鶴は、大倉喜八郎男爵を表しているとのこと。敷地内にある八角形の伊東忠太設計の書院（大倉家京都別邸「真葛荘」）もとても美しかった。唯々有り難く、一期一会の出会いに思わず合掌。

・西本願寺伝道院（伊東忠太設計/竹中工務店・1912年竣工）
・龍谷ミュージアム（日建 赤木 隆設計/2010年竣工）
伝道院の外観を見学。威厳のある建物の周囲を忠太特有の石造の怪物がぐるりと囲んでいて可愛らしかった。

龍谷大学の博物館である龍谷ミュージアムは自由見学。露地に見立てた経路空間を表すデザインが街並みと見事に調和してとても美しかった。

・京都水族館（東洋設計・大成建設/2011年竣工）

梅小路公園内に2012年3月に開業したばかりの日本初の完全な人口海水利用型水族館。源流から海にいたるつながりと多くの命が共生する生態系再現。今回参加者である作家・石井春さんによるアートワークの案内と榊原茂館長の館内説明。ポルトガルの工房で焼いたという色鮮やかなタイルアートがとても美しく調和している。建築と魚とアートと日本庭園が見事にコラボした京都の新名所。ぜひ多くの人に紹介したい。

・虎屋京都ギャラリー（内藤廣建築設計/鹿島建設・2009年竣工）
1628年以前から京都御所近くに虎屋が店を構えていた歴史ある土地。素晴らしいコレクション展示ギャラリー・お稲荷様・江戸時代の東蔵・水盤のある中庭を見学ののち、お茶をしながら贅沢な建築空間を味わった。

・堀木エリ子&アソシエイツショールーム

和紙デザイナー堀木エリ子さんのショールーム見学。和紙と照明でデモンストレーション解説の後、宝塚のスターのようなカリスマオーラを発しながら堀木さんが登場され質疑応答。和紙の奥深さ、素晴らしさを再発見。

夕食は、京大生御用達の「串八」で夕食・懇談会で盛り上がり、ホテルギンモンドに宿泊。



龍池山・大雲院本堂にて

翌日10日は、徒歩にて大山崎地区の建物を視察。

・野村邸茶室（藤井厚二設計/大工・酒得金之助・1930年頃竣工・特別公開）を見学。松隈章氏の解説で洗練された豊かな内部空間を体験した。とても有り難い時間を過ごすことが出来た。

・大山崎ふるさとセンター 千利休「待庵」原寸大の再現茶室等館内展示を見学し、大山崎地区の歴史を学ぶ。

・サントリー山崎蒸留所（安井建築設計事務所/三和建設・1958年竣工）
水の美しさで有名な天王山山裾に建つウィスキー蒸留所。製造過程見学の後試飲。とても美味しかった。

・聴竹居（藤井厚二設計/大工・酒得金之助・1928年竣工）

環境共生住宅の原点である藤井厚二自邸。荻野氏と松隈章氏の解説で聴竹居見学。包装も美しく美味しい聴竹居弁当をいただく。聴竹居の豊かな建築空間を満喫しながら、贅沢なランチタイムを過ごすことが出来た。

・アサヒビール大山崎山荘美術館（加賀正太郎設計・国登録有形文化財）
関西の実業家・加賀正太郎の邸宅として、本人設計の英国風の山荘をアサヒビール（株）が、京都府・大山崎町と復元整備した後、1996年アサヒビール大山崎山荘美術館として開館。安藤忠雄設計の「地中宝飾箱」「夢の箱」も見学。本館2階テラスから眺める津川・宇治川・桂川が合流する、山崎の紅葉景色が絶景。季節の庭園を散策しながら山崎駅へ。駅にて解散、各自帰路へついた。

私たちは、京都駅前地下街ポルタプラザにある石井春さんのタイルアートを案内していただいた。

とても楽しく素敵で幸せな気持ちになった。

秋の京都で、建築・アート関係者の参加者の皆さんと一緒に楽しく建物を視察させていただき、多くを学ぶ事が出来ました。周到的な準備をして下さったスタッフの皆様、参加者の皆様に心から感謝いたします。